朝日 2022年(令和4年)5月17日(火)

テーマは「自然風の庭」という石崎清士さんが造った汐見ガーデン＝南伊勢町船越

ようこそ わたしの庭へ

伊勢志摩 愛好家たちが無料開放

ガーデニングの愛好家たちが自慢の庭を無料で開放する「オープンガーデン」が伊勢志摩地方の計9カ所で開かれている。主催する住民たちは、来訪を呼びかけている。

イギリス発祥のオープンガーデンの文化に共感した南伊勢町の石崎清士さん(72)の呼びかけで2017年に3戸で始まった。徐々に増えて今春は同町4、志摩市4、伊勢市1の、8戸と1寺院が参加している。

それぞれの庭は「遊花夢」「ゆるりガーデン」などと名付けられており、周辺に案内看板も立っている。訪れた人は、観賞だけでなく、花木の育て方などを相談することもできる。

名古屋市から移住した石崎さんの「汐見ガーデン」は広さが3300平方㍍。10年にわたって手をかけ続けた庭には約200種の草花に約100種の樹木がある。今月中旬まではナデシコやスターチス、6月初めにかけてはササユリなどが見ごろを迎える。

コロナ禍で落ち込んではいるものの、1日40～50人が訪れるという。石崎さんは「庭はそれぞれの個性にあふれた造りになっており、花談議も楽しんで欲しい」と話している。

公開の終了は5月下旬、6月とまちまち。詳しくは、ホームページ「南伊勢・志摩オープンガーデン」で検索すると出てくる。

(白井昭仁)